

(2008年1月20日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

制限時間 30分

### 平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級実技

あるDVDレンタル店では、店舗の改装工事をする事になった。改装後の棚割り(商品を置く棚数を決めること)は、12月のレンタル本数を種類ごとに集計したものをもとに割り振りをすることになり、12月の売上集計と棚割計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 種類コード表

種類コード	種類名
Y	洋画
H	邦画
K	韓流
A	アニメ

資料3 売上日計表

月	日	売上コード	種類名	区分	本数
12	1	YN	洋画	新作	19
12	1	YP	洋画	旧作	21
12	1	HN	邦画	新作	7
12	1	HF	邦画	旧作	14
12	1	KN	韓流	新作	2
12	1	KF	韓流	旧作	3
12	31	AN	アニメ	新作	10
12	31	AF	アニメ	旧作	6

資料2 区分コード表

区分コード	区分	料金
N	新作	400
F	旧作	300

#### 処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。  
設定する書式: 罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。  
「種類コード表」「区分コード表」の※印の部分は、資料1・2のデータを入力する。なお、種類コードおよび区分コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
  - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
  - D列の「種類名」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の左端の1文字をもとに、シート1の「種類コード表」を参照して表示する。
  - E列の「区分」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の右端の1文字をもとに、シート1の「区分コード表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業シートで、次のように作成する。  
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
- シート4は、次のように作成する。
  - 「1. レンタル料金表」の※印の部分は、資料2のデータを入力する。
  - 「2. レンタル本数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
  - 「3. レンタル金額集計表」は、次のように作成する。
    - C列の「新作」およびD列の「旧作」は、「料金 × レンタル本数」の式で求める。
    - E列の「合計」は、C~D列の合計を求める。
    - 22行目の「合計」は、18~21行目の合計を求める。
  - 「4. 棚数計算表」は、次のように作成する。
    - C列の「本数」は、「2. レンタル本数集計表」のE列の「合計」を表示する。
    - D列の「棚数」は、初期値として1を入力しておく。
    - 30行目の「合計」は、「本数」および「棚数」の合計を求める。
    - E列の「平均」は、「本数 + 棚数」の式で求める。ただし、小数第1位まで表示する。
    - E31の「最大と最小の差」は、E26~E29の「平均」の最大値と最小値の差を求める。ただし、小数第1位まで表示する。
    - D26~D29の「棚数」は、「棚数」が1以上の整数、D30の「合計」が30、E31の「最大と最小の差」が最小値になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。  
設定例 (目的セル: E31 目標値: 最小値 変化させるセル: D26~D29  
制約条件: D26~D29は整数、D26~D29は1以上、D30は30)
- グラフは、「2. レンタル本数集計表」と「3. レンタル金額集計表」から作成する。
  - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
  - グラフの数値軸目盛は、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(25%)を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

A	B
1	
2	種類コード表
3	種類コード 種類名
4	Y ※
5	H ※
6	K ※
7	A ※
8	
9	区分コード表
10	区分コード 区分
11	N ※
12	F ※

A	B	C	D	E	F	
1						
2	売上日計表					
3	月	日	売上コード	種類名	区分	本数
4	12	1	YN	洋画	新作	19
5	12	1	YP	洋画	旧作	21
6	12	1	HN	邦画	新作	7
7	12	1	HF	邦画	旧作	14
8	12	1	KN	韓流	新作	2
9	12	1	KF	韓流	旧作	3
10	12	31	AN	アニメ	新作	10
11	12	31	AF	アニメ	旧作	6
12	合計					189

(D4) = VLOOKUP(LEFT(C4,1),  
シート1!\$A\$4:\$B\$7,2,0)  
(E4) = VLOOKUP(RIGHT(C4,1),  
シート1!\$A\$11:\$B\$12,2,0)

A	B	C	D	
1	合計 / 本数 区分			
2	種類名	新作	旧作	合計
3	洋画	1105	※※	※※
4	邦画	※※	※※	※※
5	韓流	※※	※※	189
6	アニメ	※※	※※	※※
7	合計	※※	1867	※※

シート2のA3~F25に  
データピボットテーブル  
作成  
シート3!A2 完了  
行種類名  
列区分  
データ本数  
は5つを行も列もかえり

12月の売上集計と棚割計画書

1. レンタル料金表
 

種類名	新作	旧作
料金	※	※
2. レンタル本数集計表
 

種類名	新作	旧作	合計
洋画	1,105	※※	※※
邦画	※※	※※	※※
韓流	※※	※※	189
アニメ	※※	※※	※※
合計	※※	1,867	※※
3. レンタル金額集計表
 

種類名	新作	旧作	合計
洋画	442,000	※※	※※
邦画	※※	※※	※※
韓流	※※	※※	65,300
アニメ	※※	※※	※※
合計	※※	560,100	※※
4. 棚数計算表
 

種類名	本数	棚数	平均
洋画	※※	※※	※※
邦画	※※	※※	※※
韓流	189	※※	※※
アニメ	※※	※※	※※
合計	※※	30	122.5

新作と旧作の比較 A11U

シート3  
D8~A3 編集コピー  
シート4 B9 貼り付け  
コマンドは 111 線状

絶対相地  
C18 = C6 \* C10  
D18 = \$D\$6 \* D10  
C18~E22 オートSUM  
E26 = E16  
D26~D29 1  
E26 = C26 / D26  
1行上1行 E30まで  
C30~D30 オートSUM  
E31 MAX(E26:E29)  
- MIN(E26:E29)

C9~D9 C14~D14 C22~D22  
グラフ 横棒 100%積み上げ横棒 次々  
系列 行→列 系列 項目軸→Y軸 本数 金額

日本語相地?  
データ系列の書式設定 オプション 区分線  
軸の書式設定 目盛 軸反転 軸  
最大項目 Y軸値軸と交差 軸 OK  
軸の書式設定 目盛間隔 ≥5

あるDVDレンタル店では、店舗の改装工事をする事になった。改装後の棚割り（商品を置く棚数を決めること）は、12月のレンタル本数を種類ごとに集計したものをもとに割り振りにすることになり、12月の売上集計と棚割計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 種類コード表

Table with 2 columns: 種類コード, 種類名. Rows: Y (洋画), H (邦画), K (韓流), A (アニメ)

資料2 区分コード表

Table with 3 columns: 区分コード, 区分, 料金. Rows: N (新作, 400), F (旧作, 300)

資料3 売上日計表

Table with 6 columns: 月, 日, 売上コード, 種類名, 区分, 本数. Rows: 12/1 YN (洋画 新作 19), 12/1 YF (洋画 旧作 21), 12/1 HN (邦画 新作 7), 12/1 HF (邦画 旧作 14), 12/1 KN (韓流 新作 2), 12/1 KF (韓流 旧作 3), 12/31 AN (アニメ 新作 10), 12/31 AF (アニメ 旧作 6)

処理条件

- 1. 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
2. シート1は、次のように作成する。「種類コード表」「区分コード表」の※印の部分は、資料1・2のデータを入力する。なお、種類コードおよび区分コードは半角英字である。
3. シート2は、次のように作成する。(1) 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。(2) D列の「種類名」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の左端の1文字をもとに、シート1の「種類コード表」を参照して表示する。(3) E列の「区分」の※※印の部分は、C列の「売上コード」の右端の1文字をもとに、シート1の「区分コード表」を参照して表示する。
4. シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
5. シート4は、次のように作成する。(1) 「1. レンタル料金表」の※印の部分は、資料2のデータを入力する。(2) 「2. レンタル本数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。(3) 「3. レンタル金額集計表」は、次のように作成する。① C列の「新作」およびD列の「旧作」は、「料金 × レンタル本数」の式で求める。② E列の「合計」は、C~D列の合計を求める。③ 22行目の「合計」は、18~21行目の合計を求める。(4) 「4. 棚数計算表」は、次のように作成する。① C列の「本数」は、「2. レンタル本数集計表」のE列の「合計」を表示する。② D列の「棚数」は、初期値として1を入力しておく。③ 30行目の「合計」は、「本数」および「棚数」の合計を求める。④ E列の「平均」は、「本数 ÷ 棚数」の式で求める。ただし、小数第1位まで表示する。⑤ E31の「最大と最小の差」は、E26~E29の「平均」の最大値と最小値の差を求める。ただし、小数第1位まで表示する。⑥ D26~D29の「棚数」が1以上の整数、D30の「合計」が30、E31の「最大と最小の差」が最小値になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：E31 目標値：最小値 変化させるセル：D26~D29 制約条件：D26~D29は整数、D26~D29は1以上、D30は30
(5) グラフは、「2. レンタル本数集計表」と「3. レンタル金額集計表」から作成する。① グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。② グラフの数値軸目盛は、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(25%)を設定する。
6. シート4を報告書として印刷する。

種類コード表 (シート1) with columns: 種類コード, 種類名. Rows: Y, H, K, A

売上日計表 (シート2) with columns: 月, 日, 売上コード, 種類名, 区分, 本数. Rows: 12/1 YN, YF, HN, HF, KN, KF, 12/31 AN, AF

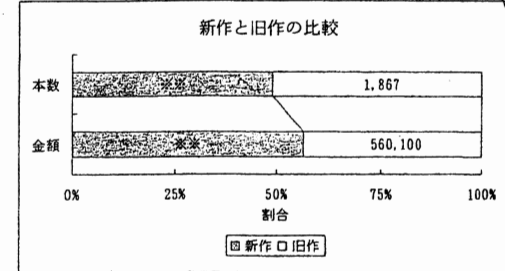
合計/本数/区分 (シート3) with columns: 種類名, 新作, 旧作, 合計. Rows: 洋画, 邦画, 韓流, アニメ, 合計

D4 = Vlookup(LEFT(C4,1), シート1! \$A\$4:\$B\$7, 2, FALSE)
E4 = Vlookup(RIGHT(C4,1), シート1! \$A\$11:\$B\$12, 2, FALSE)

シート2のA3~F25を挿入 ヒポボットテン
既存のシート3!A2 OK
行種類を列区分値本数に並び替る

12月の売上集計と棚割計画書

1. レンタル料金表, 2. レンタル本数集計表, 3. レンタル金額集計表, 4. 棚数計算表. Includes handwritten calculations like C18=C6\*D10, D26=E10, E26=C26/D26.



シート3 B4~D8 コピー
シート4 C10 貼り付け
アニメマシナ 1行種類
総計欄地
C18=C6\*D10
D18=\$D\$6\*D10
E26=E10
D26=1
E26=C26/D26
1桁上げ
E31=MAX(E26:E)-MIN(E26:E)
シート4
A1:V1上
F列下 挿入
軸ラベル 横下
目盛間隔 0.25

22

データ
ヨルバー

C9~D9
C14~D14
C22~D22
挿入 模様
100% 縦向き 挿入
行列の切り替え
データラベル 挿入
デザイン データの
項目軸ラベル 編集

本数 金額 OK => 金額と本数が逆 軸ラベルの切り替え